



成長を感じる2ヶ月

6月6日(月)に「保幼小連絡会」があり、1年生の授業を保育園や幼稚園の先生方に参観していただきました。月曜日の5時間目という時間でしたが、大変落ち着いて一生懸命に学習に取り組んでいる姿を見ていただき、お褒めの言葉をたくさんいただきました。また、6月7日(火)には「はじめましての会」が開かれました。大変立派な態度で会に参加し、上級生となかよく触れ合うことができました。

運動会での大活躍もすばらしかったのですが、1年生が2ヶ月間で小学校生活に慣れ、日々たくましく成長していていることを実感しています。さらに、1年生の成長を支えている上級生にかかわりも垣間見ることができ、琴浦南っ子が元気いっぱい育っていることをとてもうれしく思っています。



整理・整頓について・・・

私たちはよく「整理・整頓をしましょう」と言います。ご存知の方も多いと思いますが、実は「整理」と「整頓」は違った意味を持っています。

まず始めに「整理」ですが、辞書で見ると「整理」とは、「①乱れた状態にあるものをととのえ、秩序正しくすること」「②不必要なものを取り除くこと」と記されています。「いるものといらないものを分け、いらないものを捨てる」という意味が「整理」にはあります。

次に「整頓」ですが、「整頓」とは、「よく整った状態にすることきちんと片付けること」とあります。「必要なものをいつでも誰でも取り出せるよう、秩序だてて配置する」という意味が「整頓」にはあります。

例えば、学校にはいろいろな文書があり、ファイリングをしています。しかし、文書の量が管理できる分量を超えたものになると、いくらファイリングのテクニックがあってもすべてのものに目が行き届かず、効果は望めません。ですからまず、要らないものを捨てる「整理」を行います。次に、文書について「戻す場所」と「そこにいつまで置いて良いか」などを決めて、「整頓」します。情報は古くなると価値が低下します。価値が下がった書類は捨てられ、より新しくして利用価値の高い情報がそこに入ります。



こうした約束事によって、いらなくなったものは捨てられ、いるものは元に戻されます。元の位置にあるから必要な文書を見つけることができます。

整理と整頓、この2つの意味の違いを理解し、書類やものを上手に管理して、落ち着いた環境をつくっていけば、探しものに貴重な時間を費やすことはなくなるでしょうし、気持ちよく生活ができるようになると思います。ちょっと身の回りを見渡してみて、このことを考えてみたいのです。